

2021年10月11日

順天堂大学
学長 新井 一 殿

順天堂大学 外部評価委員会
委員長 山本 進一

2021年度 順天堂大学外部評価委員会 評価報告書

1. 外部評価委員会評価報告書の目的

順天堂大学は、『内部質保証に関する方針』、『順天堂大学内部質保証に関する規程』及び『順天堂大学自己点検・評価に関する規程』に基づき、内部質保証の推進に必要な自己点検・評価を、毎年度、全学的に実施している。

2021年度外部評価委員会は、順天堂大学学長から、2020年度を対象とした自己点検・評価項目のうち、後述する5つのテーマについて、評価依頼を受けた。本委員会は、『順天堂大学外部評価委員会規程』に基づき、これら5つのテーマに係る自己点検・評価の客観性及び妥当性並びに内部質保証の有効性に関する評価を行ったので、その評価結果を以下のとおり取りまとめた。

2. 評価対象・評価方法

評価対象は、以下の5つのテーマであり、順天堂大学から提出された『2021(令和3)年度 順天堂大学 外部評価委員会 評価依頼事項』及びその根拠資料並びに委員会当日の質疑応答に基づいて、客観性・妥当性・有効性の観点から評価を行った。

＜評価依頼のあったテーマ＞

- 1) 内部質保証の方針と手続きに基づき、教育における内部質保証システムは有効に機能しているか
- 2) COVID-19 影響下でのオンライン授業・ハイブリッド授業の運営は、適切・妥当であったか
- 3) DP に示した学修成果を適切に把握・評価できているか
- 4) 本学の入試において、COVID-19 への対応・対策は妥当であったか
- 5) 本学の入試の適切性について検証を行えているか

3. 各テーマに対する評価

1) 内部質保証の方針と手続きに基づき、教育における内部質保証システムは有効に機能しているか

<概評>

『内部質保証に関する方針』及び『順天堂大学内部質保証に関する規程』に内部質保証のための全学的な方針、体制及び手続きが定められ、学長の下に、大学全体として内部質保証の推進に責任を負う内部質保証推進委員会が設置されている。内部質保証の推進に必要な自己点検・評価については、『順天堂大学自己点検・評価に関する規程』に基づき、自己点検・評価運営委員会及び同部門委員会が設置されている。毎年度、これらの委員会において、全学的な自己点検・評価が実施され、その結果に基づき、内部質保証推進委員会主導のもとに改善の取り組みや更なる教育の質向上への取り組みが行われている。また、学外者からなる外部評価委員会を開催し、自己点検・評価及び内部質保証の取り組みについて、客観性・妥当性・有効性の観点から評価を受けている。内部質保証システム自体の適切性の点検・評価については、大学の教育・研究に関する最上位の審議機関である学長主宰の大学協議会がその役割を担っており、具体的には、内部質保証推進委員会及び外部評価委員会の審議内容並びに各部門の対応状況を、同協議会に報告し、確認することとしている。内部質保証システムにおいて、横断的かつ定期的な点検等の機能は重要と考えられ、同協議会がこの機能を果たしていることも確認できた。

以上のことから、教育における内部質保証システムは有効に機能していると言える。

<提言>

- ・委員会諸規程の全体に関係することであるが、委員会等をオンラインにより開催することに関する規程を整備することが望まれる。

2) COVID-19 影響下でのオンライン授業・ハイブリッド授業の運営は、適切・妥当であったか

<概評>

オンライン、ハイブリッド授業導入に伴い、学生への Wi-Fi ルーター貸出や契約費用の補助等、学生の学修環境による不利益が生じないよう適切な環境整備が行われている。また、医学部をはじめとして、授業の内容に応じ、オンライン及びオフラインによる学修効果を整理した上で、実施体制が検討され、COVID-19 の影響を考慮した適切な授業方法と成績評価が実施されている。更に、COVID-19 の影響で授業内容を変更した場合には、直ちにシラバスを変更し、学生に周知されており、学生の学修効果が保証できるよう対応されている。

COVID-19 感染拡大とその長期化に伴う(学生への)メンタルサポートやセキュリティ対策等について、独自の工夫も含め全学的な取り組みが行われていることも確認できた。オンライン授業の課題(学生同士が教え合う機会の喪失等)について把握

するなど、重要な視点も明らかにされており、今後に繋がる課題の明確化として評価する。今後の更なる取り組みに期待したい。

以上のことから、COVID-19 影響下でのオンライン授業・ハイブリッド授業の運営は、適切・妥当であると評価できる。

3) DP に示した学修成果を適切に把握・評価できているか

<概評>

各学部では、授業科目ごとの厳格な成績評価を前提に、コンピテンシーの達成度評価、CBT(Computer Based Testing)、OSCE(Objective Structured Clinical Examination)、実習・演習時のルーブリックを用いたアセスメント、TOEFL スコアの上昇度等の指標を組み合わせ、学習ポートフォリオも活用して、学生の学修成果を多角的に把握・評価している。大学院各研究科においても、各科目の厳格な成績評価を前提に、論文発表に至るまでの各過程（研究計画書・研究指導計画書、研究進捗状況報告書、中間報告会、ポスターセッション、論文審査におけるプレゼンテーション・口頭発表、口頭試問等）で学修成果を把握・評価している。

グローバル社会の進展や変化において、新たな国際連携や協働の構築・促進のための人材育成(教育)重視とその方向性、及び学部(分野)ごとの具体的な取り組みも確認できた。リベラルアーツという言葉から紐解かれる教育も、新たなグローバル社会に求められる人材育成(教育)に必要不可欠と考えられることから、学修成果を視野においた更なる取り組みに期待する。

以上のことから、DP に示した学修成果を適切に把握・評価しようと取り組んでいると評価できる。

<提言>

- ・学生からの成績の不服申し立てに関する制度を整備することが望まれる。

4) 本学の入試において、COVID-19 への対応・対策は妥当であったか

<概評>

COVID-19 の影響により、対面オープンキャンパスに変えて、オンラインを活用したオープンキャンパスや進学説明会、進路相談会が実施され、志願者層の受験意思決定のための必要な情報が適切に提供されている。試験当日の感染防止対策においては、医療、健康を専門分野とする大学に相応しい細心の注意を払った様々な対策が実施されている。更に、罹患者・濃厚接触者については、追試験や振替試験の機会が適切に設けられ、不利益のないよう配慮されている。追試験や振替試験を受験できない者、希望しない者に対して受験料の返金を行ったことも評価できる。

以上のことから、入試における COVID-19 への対応・対策は、予防、広報、機会の提供等、貴学の強みを活かして全学を挙げ適切に取り組んでおり、妥当であったと評価できる。

5) 本学の入試の適切性について検証を行っているか

<概評>

大学全体として全学入試委員会、各学部・研究科では入試委員会、入学者選抜委員会、入試検証委員会を設置し、組織的に取り組みが行われている。

入試の適切性については、各学部・研究科の入試検証委員会において、公正性・適切性についての具体的判断基準が示された「検証事項チェックリスト」によって検証が行われ、その検証結果に基づいて対策が検討されている。合否判定で使用される選考資料に、選考に関係しない受験生の属性情報を記載しないことは適切である。各学部・研究科の検証結果を踏まえて、全学的な立場から内部質保証推進委員会において、学生募集、出願手続き、個別学力試験、小論文・面接、合否判定、合格発表等の各段階において、公正を確保し適切に行われたことを検証している。

以上のことから、各学部・研究科レベル、大学レベルで、それぞれ入試の適切性について検証を行っているものと評価できる。それぞれの検証結果と分析等を、今後の取り組みに効果的に活かしていくことを期待したい。

4. まとめ

2021年度外部評価委員会は、2020年度を対象とした自己点検・評価をもとに、上記5つのテーマについて、評価を行った。それぞれのテーマにおいて、順天堂大学の対応は適切・妥当であったと評価できる。大学には、教育研究等の状況について、自ら点検・評価を行い、その評価結果をもとに、質の向上を図り、適切な水準にあることを自らの責任で説明し証明していくことが求められている。順天堂大学では、毎年度、全学的な自己点検・評価が実施され、その結果をもとに改善活動を行う仕組みが構築されていることから、この仕組みをしっかりと機能させ、継続的に教育研究活動等の更なる改善・向上に取り組んで頂きたい。内部質保証の推進に責任を負う内部質保証推進委員会が主導する教育の質向上の取り組みにも期待したい。また、第三者の視点で行う外部評価委員会の評価についても、順天堂大学の取組みの妥当性・適切性を客観的に評価し透明性を確保していくための重要なプロセスの一つであることから、定期的かつ継続的に実施していくべきであると考え。今後とも、順天堂大学が、社会情勢の変化を踏まえて自らの責任でその質を保証する高度な教育研究活動を通じて、社会の信頼に応えるとともに、国際レベルでの社会貢献と人材育成に邁進することを期待する。

以上

2021 年度 順天堂大学外部評価委員会 委員

所属	役職	氏名
豊橋技術科学大学	理事・副学長	○ 山本 進一
学校法人聖啓学園	理事長	イチカワドイル 徳恵
丸善雄松堂(株)	執行役員	井上 賢一
独立行政法人日本スポーツ振興センター	理事	勝田 隆

※委員長：○印